

(財)日本医療機能評価機構認定病院

地域医療支援病院

盛岡赤十字病院地域医療連携室広報誌



LEAF

令和2年6月
第39号
盛岡市三本柳 6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 久保直彦

<基本理念>

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、
みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。



写真：松田前院長（左）と久保新院長（右）

特集

新院長・病院幹部ご挨拶 新任医師・研修医ご挨拶

連載

新周産期部門のご案内（第2回）

特集 新院長ご挨拶



院長
久保 直彦

先生方におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は当院の診療と運営にご支援ご指導いただきありがとうございます。この4月から院長に就任いたしました久保です。私は当院に赴任以来23年間脳神経外科医として主に脳卒中などの脳疾患の患者さんを中心に診療してきました。これからも当院の理念である「みなさまの生命と健康をまもる」ために努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて盛岡赤十字病院は2020年創立100周年を迎えました。当院は1920年（大正9年）4月に盛岡市内丸で開院し、以来病院機能を徐々に拡大してきました。1987年（昭和62年）12月、現在の三本柳に移転し33年経過しております。今なお医師の充足不足など至らないところもありますが、急性期医療を中心に人口動態と年齢構成の変化に合わせた医療ニーズに沿った診療を行ってまいります。

当院は地域医療支援病院の認定を受けており、かかりつけ医からのご紹介時には速やかに検査・診療できますように地域医療連携機能を強化し医療連携室を設置しております。また医療連携室専任看護師長を配置し、専任師長と当院医師の院内専用電話番号は公表しております。またご紹介の手続きはなるべく簡略化してスムーズにご紹介いただけますように配慮しておりますので、どうぞお気軽に当院へご紹介、ご利用してください。

さて現在、世界中に新型コロナウイルス感染がパンデミックに至り、日本においても全国に緊急事態宣言が発せられる事態に至りました。東京オリンピックが延期になるなど社会、経済への影響も多大です。最前線であり最後の砦と言うべき医療も危機的状況へ向かっています。特に岩手県は医療資源が乏しいので岩手の医療界全体が協力した対応が必要と思われれます。当院は微力ながら課せられた役割を果していきたいと思っておりますので、これまでも増してご指導、ご支援をお願い申し上げます。

病院幹部ご挨拶



副院長
杉村 好彦

地域連携に向けて盛岡赤十字病院新体制

令和2年4月から、久保先生が院長に就任し（松田前院長は名誉院長に就任）副院長は杉村一人体制となりました。小生は、医療安全関連の担当を行い、地域施設との安全ラウンドなどで訪問させていただくことになろうかと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、新たに地域医療連携室長には、藤原消化器内科部長に担当してもらい、地域医療連携の当院の顔となってくれるものと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



事務部長
佐々木宏文

いつも医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年来、病院の再編統合、岩手医大附属病院の矢巾移転、新型コロナウイルスと相次ぎ、医療機能に応じた連携が重要であることを改めて実感しております。

当院は今年創立百周年を迎えました。今後も地域に必要とされる病院で有り続けられるよう役割を果たしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
目時 のり

地域の医療施設・介護施設の皆様方には、日ごろ大変お世話になっております。心から感謝申し上げます。地域包括ケアシステムに関わる看護職員の役割として、当院では「高齢者の尊厳を守り自立した生活を支援する」ことを大切にしております。そのためには職員一人ひとりがもっと地域を知り、患者さんを生活者として捉え援助していくことが重要だと感じております。今後とも当院からつながった医療や看護について、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

特集 新任医師・研修医のご挨拶



血液内科副部長
泉田 亘

出身：岩手県住田町
一言：4月からこちらの血液内科でお世話になることになりました。何かありましたらお気軽にお声かけていただければ幸いです。宜しくお願い致します。



外科医師
岩崎 崇文

出身：大阪府
一言：今年の3月に岩手医科大学附属病院での初期研修を終え、4月より外科で勤務させていただきましたこととなりました。医師としてまだまだ未熟ではございますが、患者様の痛みを理解し、寄り添うことができるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



整形外科医師
奥田 将人

出身：岩手県遠野市
一言：県立宮古病院で初期研修、2年間の大学病院勤務後、4月から整形外科医として勤務させていただきます。まだまだ力不足な点もありますが、どうぞよろしくお願い致します。



第一脳神経外科部長
和田 司

出身：岩手県盛岡市
一言：岩手医科大学脳神経外科より盛岡赤十字病院に異動して参りました。大学では、脳腫瘍および間脳下垂体腫瘍に対する開頭術、神経内視鏡手術を主に担当しておりました。今後はより一層、地域医療に貢献するべく神経疾患全般に加えて、間脳下垂体系の内分泌疾患も含めて対応したいと考えております。よろしくお願い致します。



耳鼻咽喉科副部長
金城 伸祐

出身：神奈川県
一言：初期研修から4年を経て戻ってまいりました。大学で4年間、いわゆる「大学病院の症例」を診続けてきました。「市中病院」の症例と適切な対応をたくさん勉強させていただきます。頑張ってお働きします。よろしくお願い致します。



放射線科副部長
折居 誠

出身：岩手県盛岡市
一言：画像診断で早くお役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。



研修医
成澤 将大

出身：東京都
一言：精一杯頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



研修医
小瀬川 純

出身：岩手県盛岡市
一言：明るく元気に頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



研修医
佐藤 直弘

出身：宮城県仙台市
一言：本年度より研修医としてお世話になります。臨床経験がほとんどなく、医師としてはまだまだ未熟ですが、一日でも早く医師として地域へ貢献できるように努力していくつもりです。ご指導のほどよろしくお願い致します。



研修医
高藤 慎平

出身：神奈川県横浜市
一言：今年度から研修医としてお世話になります。早速盛岡の寒さに驚いていますが、医師として成長できるよう頑張っていきます。よろしくお願い致します。

周産期部門のご案内

～「分娩期の管理」について～

産科病棟では、「妊産褥婦と新生児、その家族に寄り添いながら思いやりのある看護を提供します」を理念としており、患者様のニーズを尊重し、満足したお産ができるよう、妊娠期から産褥期まで継続したサポートを行っております。また、メンタルヘルスケアにも力を入れており、地域と連携を図りながら切れ目のないケアが提供できるよう、育児支援を行っております。



経膣分娩：事前に記入したバースプランをもとにケアを行っております。産婦さんの希望により、ご家族の立会い出産も可能です。



帝王切開分娩：24時間365日、帝王切開が可能です。超緊急（手術決定から児の娩出まで30分以内を目標とする）の帝王切開に対応するため、定期的にシミュレーションによる訓練を行っております。



新生児治療室：妊娠34週以降の分娩を受け入れております。早産や低出生体重児などの病児は、病棟内の新生児治療室でお預かりし、治療を行います。



アドバンス助産師：一定の経験を積み、日本助産評価機構により「自律して助産ケアを実践できる能力」を有すると認定された助産師です。院内で19名が認定を受けております。



お祝い膳：出産後、盛岡市内のホテルのお祝い膳を提供しております。育児が始まるとなかなかゆっくりにお食事を出来る時間もとれなくなるので、ご好評を頂いております。